

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



ほろほろ記憶とまわる春の間

緑町 池田 良子

温かや傷を残して姑の杖

西町 金澤 頼子

一陣の風はほぼれ花吹雪

元町 印牧 安子

道すがら空地 一群鳥帰る

緑町 齋藤 嘉子

夏めくや自転車選ぶ親子づれ

仲町 坂部 和子

雪捨てて自由自在はほぐれ雲

西岡町 渋谷 みさ子

家族旅長き下ノネル過ぎて雪

南桜町 宮腰 幸子

大空になき声残し鳥雲

西原町 児玉 久美子

春光や少女は髪をなびかせて

旭町 宝澤 房子

見はるかす令和のやまと五月空

仲町 玉野 研一

づいすの声の幼なさと和むなり

西町 杉浦 とし枝

農作業さあ始まるよ草若葉

藤本町 鈴木 ゆき子

眼を病みておぼろの中に生きていむ

東町 高草木 喜代子

児童らの元気な姿草若葉

西岡町 高瀬 久美子

新元号未来へ託す四月尽

東町 高橋 世津子

陽のながく伸びる若草匂い立つ

西町 文梨 清子

薫風を満たすもの家山ひろし

仲町 芳賀 星子

緊張の眼差し凜りし新入児

仲町 梅基 文子

アルカの親子寄り添い草若葉

旭町 大河 博子

春彼岸仏花はせめてはなやかに

西町 岸波 君江